

ようこそ、美的好奇心の世界へ。当館学芸員がご案内します。

# 2025年度 美術鑑賞講座



定員165名（申込不要・先着順） 当館講堂にて 参加無料 各回14:00～15:30（13:30開場）

月日	テーマ	おはなし
5/24 (土)	<b>戦没画家・金子孝信と昭和戦前期の日本画</b> 新潟市出身の日本画家・金子孝信（1915～1942）が遺した日本画作品のうち、今日眼にすることができるのは20点余り。彼の活動期と重なる昭和戦前期の日本画の名品を紹介しながら、孝信の表現の独自性、同時代性について考えます。 関連する展覧会：コレクション展「[新収蔵] 金子孝信とその時代」 4月8日～6月9日	長嶋 圭哉 (当館学芸員)
7/19 (土)	<b>コレクション展「佐渡の作家たち」を見る。</b> 昨年7月、「佐渡島の金山」が世界文化遺産登録されたことを記念して、コレクション展に展示中の佐渡島出身、ゆかりの作家の作品を通覧し、佐渡島の文化、郷土性について考えてみたいと思います。 関連する展覧会：コレクション展「佐渡の作家たち」 6月19日～8月31日	松矢 国恵 (当館学芸員)
8/16 (土)	<b>フランスの浮世絵師 アンリ・リヴィエール</b> アンリ・リヴィエール（1864～1951）はジャポニズムの流行した時代のパリに生まれ育ち、木版画や石版画により抒情豊かな風景や人物を描きました。日本と関わりの深いその生涯や、代表作《エッフェル塔三十六景》など魅力的な作品世界をご紹介します。 関連する展覧会：コレクション展「眺めのいい部屋」 6月19日～8月31日	平石 昌子 (万代島美術館学芸員)
10/25 (土)	<b>新潟の童画家たち—川上四郎と落谷虹児—</b> 長岡市出身の川上四郎（1889～1983）と新発田市出身の落谷虹児（1898～1979）は共に大正・昭和の子ども向けの雑誌や絵本で長く活躍しました。二人の残した同時代の仕事を比較しながら、当時の子どもをめぐる世相の一端をご紹介します。	池田 珠緒 (当館学芸員)
11/15 (土)	<b>幽霊？ お化け？ 日本美術に見る怪異表現</b> 日本の美術には、幽霊やお化けをはじめ、様々な怪異な存在が描かれてきました。現実には目に見えない、得体のしれないものをどのように表現してきたのでしょうか。中世の絵巻物から浮世絵まで、その様相を紹介します。 関連する展覧会：企画展「『オバケ？』展」 9月13日～12月7日	飯島 沙耶子 (当館学芸員)

## ■学芸員によるその他の講座

5/17 (土)	<b>知って、楽しむ！ 対話型鑑賞セミナー</b> 見る人同士のコミュニケーションによる、作品の見方が広がる楽しい鑑賞法「対話型鑑賞」について学び、体験してみましょう。 要事前申込 [申込は4/1(火)9時より受け付けます] コレクション展観覧券が必要 定員12名 14:00～15:30 当館ギャラリー・コレクション展示室にて	宮下 東子 (当館学芸員)
9/20 (土)	<b>「オバケ」って何？</b> 申込不要 定員165名 14:00～15:30 当館講堂にて	藤田 裕彦 (万代島美術館学芸員)

※各講座の日時は都合により変更する場合があります。最新の情報は公式HPをご確認ください。